

広島平和大通りの並木、これは原爆で壊滅された地に、「広島の地を永遠の緑でおおわれた平和の郷に」という呼びかけに応じた、国内外の多くの方からの植樹によるものだそうです。今、季節は3月・弥生、大きく育った並木には、瀬戸内の柔らかな陽射しが注ぎ、生命の息吹を感じる季節の到来を告げています。そして今日の良き日、並木にそよぐ風を受けた広島キャンパスにおきまして、広島県知事代理 県民生活部長 鳥越直樹様、広島県議会議長 山木靖雄様を始め、多くのご来賓の方々のご臨席のもとに、平和で確かな未来を創造する275名の皆さんの門出をお祝いできますことは、私達教職員一同の最も喜びとするところであります。ご卒業・ご修了、おめでとうございます。併せて皆さんをこれまで支え・励まし、ともに卒業式にご参列されている保護者の皆様に対しまして、あらためて心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

さて皆さんは、この広島キャンパスからそれぞれの目的を求めて、限りなく広い世界に飛び立とうとしています。そして今、学びの成果として学位記、すなわちパスポートを得ることができました。しかしパスポートは飛び立つことへの許可であり、将来を約束するものではありません。飛び立つ先において結果を出すのはこれからの皆さん自身であることを自覚してください。ここで今、搭乗手続きを終え、夢膨らませて搭乗口に並んでいる皆さんに対し、飛び立つ前に、心の中には是非準備して欲しい2つのことについて、お話をすることにします。大学での最終講義として受け止めてください。

心の中に準備すべき1つ目、それは自ら取り組む課題に対して「高い志」を抱くことが大切であるということ意識して欲しいということです。皆さんもアルバイトとして働いたかも知れませんが、時給800円程度で雇われているレストランの給仕の場合です。男子学生の2人がいます。1人は、他のレストランと比較して価格の低いことをいつも嘆きながら、言われたまま、単に労働をこなすだけのタイプです。しかしもう1人の方は違います。与えられた環境内で、精一杯多くのことを学び、自分に取り入れようとする志を持ったタイプです。彼は、少なくとも給仕のアルバイトでも3つのことが学べるとしています。その1つ目は接客スキルの向上です。どのような言い方に客はどう反応するのか。応対する自分の表情や態度はどうすれば好まれるのか。まさに対人関係を学ぶ絶好の実践心理学の場であると捉えています。そして2つ目は作業の効率化です。注文された食事をいかに手早く、優雅に並べるか、食器を運ぶ道線の工夫など、作業の効率化について考え、実践する場であると捉えています。最後に3つ目は人脈の形成です。客と積極的に知り合いとなることにより、いつか自分の将来に繋がる素晴らしい人との繋がりが生まれる場であると捉えています。

これからの皆さんの社会において、他人の命令や目標の下に、課題を与えられることが日常的にあることでしょう。しかし、その指示内容を「働かされている」と感じるのか、作業の意味や目的を理解し、自分の未来への目標に繋がる志のレベルまで創造して仕事をするのか、この違いは、これからの社会との係わりで生ずる、皆さんの人生の質において、決定的な差を生み出すということをしつかり心に刻んでください。意欲に満ちた志は、よ

り高い挑戦への意欲を生み、より質の高い人生を築く上での大きな力になるに違いありません。

しかし人生においては、高い志を持って取り組んだとしても、一步も前に進めず絶望感を抱き、自ら挫折と認めざるを得ない状況に陥ることも、何度も経験するでしょう。

心に準備する2つ目について語ります。それは、そうした打ちのめされた絶望の淵においても踏みとどまる、すなわち、「絶望に耐える心」です。そのためには、「絶望とは生まれ変わるための陣痛」という亀井勝一郎の言葉を心の隅に、しっかりとしまっておいてください。戦前に治安維持法で獄中での生活を味わい転向を余儀なくされた人生、そして戦後は逆に戦争責任を問われ、自己否定と絶望を何度も味わった彼、亀井勝一郎が辿り着いた言葉です。

絶望に耐えながらも、前に進む意欲を失わないことが、いつか、心が震えるような感動を伴う成功を導くということです。前の見えない雲の中をどこまでも上に向かって飛行すれば、いつかは突き抜けた先、まばゆい太陽の光を浴びる世界があるはずです。

今までお話してきた心に準備するものとしての、「高い志に挑戦する力」そして「絶望に耐えうる力」、この2つは人生において、全く異なる環境で求められる力です。しかし、心にしっかりと備えることでこの真逆の2つの力は相互に繋がりがあい、皆さんがこれからの人生を旅する中で、しっかりと支えになると確信しております。

これで私の最終講義は終わりました。さあいよいよ旅立ちです。皆さんが活躍する世界は、社会、文化、経済、情報そして健康を初めとした幅広い分野において、広島、日本国内、そして世界中のいたるところに準備されています。心身ともに、最も成長する青春の時期に、この平和な文化都市広島で生活したこと、併せて県民の方との温かい触れあい、そしてこの広島キャンパスの思い出を大切にしてください。それらは皆さんの掛け替えのない財産です。そして卒業後、人生という飛行において再び志のエネルギーとなる意欲をチャージしたい時、絶望に耐える心からの新たな旅立ちを必要とする時には是非、広島キャンパスに再び立ち寄り、休息を取ってください。県立広島大学広島キャンパスの教職員一同、皆さんをいつまでも歓迎し、これからも応援し、見守っていくことをお約束し、卒業生・修了生への辞を閉じたいと思います。

さあ、皆さんエンジンの高鳴りは離陸の時を告げています。シートベルトはしっかりと締めましたね。

どうか皆さん お元気で 旅立ってください

平成30年3月22日

県立広島大学長 中村 健一